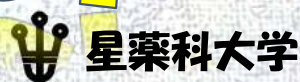


しながわワールド



星薬科大学の近くには大きな商店街がいくつかあります。今回はそのうちの一つ、**戸越銀座商店街**について紹介していきます。

＋歴史＋

大正 12 年の関東大震災で被害を受けた商人が、当時発展の著しかった大崎周辺の工場地帯である戸越の地に集まってきたことが戸越の発端です。戸越という地名の由来は諸説ありますが、江戸から戸越を越えると、相模の国(神奈川県)に入ることから、この地が古くは「江戸越えの村」と呼ばれ、やがて「戸越」になったという一説があります。商店街は非常に水捌けが悪く、長い間ぬかるみや浸水に悩まされていました。そんな時、関東大震災で壊滅的な被害を受けた銀座のレンガ瓦礫の処分に困っているという話を聞き、そのレンガを使って水捌けが悪く歩きづらい道を歩きやすくしようと、銀座までリアカーを引いてレンガをもらいに行ったそうです。そして、日本一の商業地である「銀座」からレンガを譲り受けるだけでなく、銀座の賑わいにもあやかりたいという思いから、「戸越」と「銀座」を繋げて、「戸越銀座」と名乗ったのが始まりとされています。

昔



現在



＋戸越銀座駅＋

戸越銀座駅は 1 日平均約 2 万人に利用されています。

実は 2016 年に、「木造ホーム」にリニューアルされました！木造の駅を木造でリニューアルするというのは、全国でも珍しいそうです。星薬科大学の最寄り駅であり、星薬生の多くが利用しています。所在地は「平塚」であることから当初は「平塚駅」になる予定でしたが、既に同名の駅が東海道本線にあったため知名度の高い「戸越」が仮駅名として選ばれた後、地元商店街からの要望で現在の「戸越銀座」と命名されました。

リニューアル後の写真です♪↓



＋イベント＋

戸越銀座商店街では、ほぼ毎月、イベントが行われます。2018 年 2 月 24 日(土)には「戸越銀座商業会フェスティバル 2018 とごしの☆プリンスさま♪マジでおもてなし 1054%」というイベントが開催されました。若者ウケを狙った斬新なイベントでとても驚きました。1054% = とごし、としているところもユーモアがあってとてもいいですね！キャラクターが商店街にたくさん遊びに来てくれて、大変にぎわったそうです。
“食べ歩き”の街としても注目されている戸越銀座商店街。
これからも斬新で楽しいイベントが行われるのを楽しみにしています！